

## 様式4のシラバス作成のガイドライン（公募書類用）

シラバスは学生が授業計画を立て、学修の指針を得るための貴重な情報源です。教員公募に応じて下さる方々は、以下の事項に留意の上、本学経済学部学生にとって有用な情報をわかりやすく記載してください。原則として、本学所属教員が作成する様式と同一になっています。

提出していただくシラバスによって、授業科目の設計についてのお考えの判断材料とさせていただきます。

### 【本文】

- ・学生にわかりやすい平易な表現に心掛けてください。「授業概要」、「授業目標」以外は、字数の制限はありませんが、1ページ以内に収めてください。
- ・文字のポイント数を変更していただいて構いません。ポイント数変更により小さな文字となっても問題ありません。

### 「授業概要」

- ・授業内容を簡略に示すものです。3行程度で記入してください。

### 「授業目標」

- ・授業内容とは異なり、授業を通じ、学生がどのような知識やスキルを身に付けることができるのかを示すものです。4行程度で記入してください。
- ・その他、学生の学習目標となる事項を具体的に記述してください。

### 「授業計画・授業内容」

- ・15回の授業ごとに授業内容を書き、授業の流れが学生にわかるように配慮してください。
- ・複数の教員が担当する授業では、各回の担当者がわかるように記述してください。
- ・15回目の授業を期末試験のみとすることは、避けてください。

### 「キーワード」

- ・授業内容に関する言葉のうち、重要であると思われるものを5つ程度記入してください。

### 「教科書」、「参考書」

- ・授業目標との整合性および授業内容の水準を考慮して記入してください。
- ・「教科書」は学生が必ず購入する必要のあるもの、「参考書」は学生が必ずしも購入する必要はないが、授業の理解に役立つもの等、という区別をした上で、記入してください。教科書に指定したけれども授業で使わなかった、また、学生が購入できないような高価なものが教科書に指定されている、というようなことのないように気を付けてください。
- ・教員が自分で作成した教材を使用する場合は、その旨を明示してください。

### 「評価方法・評価基準」

- ・評価方法は、授業目標、授業内容やクラス規模に応じて、筆記試験、実験、実習、論文、レポート等（以下「試験」という。）の適切な方法を選択し、記入してください。合格基準となる点数は100点満点で60点以上となります。
- ・複数の方法で成績を評価する場合には、それらの比率を具体的に示してください。（例：期末試験（50%）とレポート（50%）を実施し、総合的に判定する。）

- ・授業への取組みなどを評価に加える場合は、その内容を具体的に示してください。（例：実験・実習への取組態度、発言・質問の有無など。）
- ・評価基準は、授業目標に照らし、どのような基準により試験の採点を行うのかを、学生にわかるよう具体的に端的に記述してください。  
 （例 1：〇〇に関する主要な概念に対する理解の度合いを△△△を基準として評価する。）  
 （例 2：◇◇する能力が身についたかどうかを□□□により評価する。）  
 （例 3：×××を使って▽▽ができるかどうかを通じて●●●を評価する。）

#### 「関連科目」

- ・履修の流れがわかるように記述してください。

#### 「履修要件」

- ・受講に必要な知識や事前に履修しておくべき授業科目などを記入してください。
- ・受講に必要な条件を具体的に記入してください。

#### 「必要な事前・事後学修」

- ・空欄とせず、授業外に必要な学修時間・学修方法等を必ず記入してください。

#### 「その他」

- ・「その他」の欄は、授業に関するさまざまな情報を記入することができますので、自由に利用してください。
- ・「関連科目」欄と合わせ、この科目がカリキュラム上、どのような位置付けにあるかを説明していただければ、学生にとって履修の手がかりとなります。

※福井県立大学経済学部のカリキュラム（他の科目、配当年次など）については、本学 HP 上にある大学案内パンフレットを参考にして下さい。